

【令和4年度 山武市立日向小学校 学校評価アンケート結果報告】

結果報告に先立ちまして、次のことをご理解ください。令和4年度の学校評価アンケートは12月末から1月初旬にかけて、児童・保護者・職員を対象にして実施しました。統合初年度の、令和3年度との比較をしています。この結果を、コミュニティ・スクールの学校運営協議会委員の皆様へ提示し、学校関係者の評価として地域からの声をいただきます。

【令和3年度アンケート回収率】

- ・児童総数 241 名、回収数 211 名 87.6%
- ・保護者数 241 名、
回収数 1 回目 190 名 78.8%、2 回目 197 名 81.7%、3 回目 164 名 68.0%、4 回目 180 名 74.7%
※ 家庭数は 188 家庭ですが、児童 1 名につき 1 回ずつ回答を求めたので、保護者数は児童数と同数としています。
- ・職員数 26 名

【令和4年度アンケート回収率】

- ・児童総数 231 名、回収数 201 名 **87.0%**
- ・保護者数 231 名、回収数 152 名 **65.8%**
※ 家庭数は 177 家庭ですが、児童 1 名につき 1 回ずつ回答を求めたので、保護者数は児童数と同数としています。
- ・職員数 23 名

※この結果は、質問に対する肯定的な回答率(下記 A、B を選んだ人数)を表しています。

(A:あてはまる、B:ややあてはまる、C:ややあてはまらない、D:あてはまらない、E:わからない)

《児童の生活について》

【質問1】児童は、楽しく(夢や目標を持ち)学校に通っていて、学校生活に満足している。

回答者	令和3年度 (%)	令和4年度 (%)
児童	191 人／211 人 (90.5)	192 人／201 人 (95.5) ↑
保護者	170 人／190 人 (89.4)	134 人／152 人 (88.2) ↓
職員	(96.2)	(100) ↑

◇児童、保護者ともに、ほぼ 90%の肯定的回答を得ました。児童にとって学校が楽しいものであるように、100%を目指して反省し、改善していきます。

【質問2】あなたは、今の学校に満足している。(令和4年度新設の質問です。)

回答者	令和4年度 (%)
保護者	132 人／152 人 (86.8)

【質問3】質問2で「ややあてはまらない」「あてはまらない」と答えた方は、その理由を選んでください。

選択肢	令和4年度 (%)
授業	4 人／15 人 (26.7)
学校行事	5 人／15 人 (33.3)
生徒指導	9 人／15 人 (60)
部活動	0 人／15 人 (0)

【自由記述】

保護者から	学校から
・クラスの一部の生徒から嫌がらせを受けている。	・早急に学級担任にご相談ください。校内体制を整え、すぐに対応いたします。

保護者から	学校から
・先生が担任以外名前も顔もわからず、以前の行事などの行事も縮小されて学校との距離感を感じた。	・教育活動にあたっては、本校教職員のほか地域の方々もいらっしゃいます。今後は、こうした方々も含め、スタッフの顔が見える活動に努めます。
・コロナ禍の中、難しい判断をしながら行事を行っていただいていたと思う。ただ、運動会など外の行事の際、柔軟な対応でもよかったと思う。	・今後も、子どもたちの利益を最優先に考え、子どもたちの声を尊重し、できる限りの工夫をしながら教育活動を行っていく所存です。ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。
・学校行事はコロナ禍の中、色々考えて行っていただいていた。	
・運動会など外の行事の時の人数制限は、柔軟に対応してほしかった。	
・3 学期の縄跳び大会が長縄じゃなくなり、大変残念。少しでも時間を作ってやって欲しい。	・教職員の行動規範については、合言葉をリスペクトとし、本校のウェブサイトにも掲載しているところです。「どう言ったか」「どう指導したか」ではなく、それが「どう受け取られたか」に配慮することが、対大人や対子どもを問わず、人間関係構築の基本であることを再認識し、襟を正して教育活動にあたっていく所存です。
・マラソン大会では先生がラストの生徒に付き添い一緒に走る姿に感動しました。保護者としても子供達には困っている子や人に手助けできるように育ってほしい、先生が生徒の手本になる姿がとても大切だと思います。しかし、口調や態度が良くない先生がいるので子供ながらに不安を感じて気になるようです。	
・最近子供の言葉使いがきつくなり、死ねなどひどい言葉を使っていたため、家庭で強く指導したが、学校でもそういった言葉が飛びかっているのか不安に思った。そういった時、学校ではどうしているのか気になった。	
・先生の態度が酷い時がある。	・ご心配をおかけしております。毎月の「学校だより」や授業参観後等にアンケートを実施し、早めの対応に努めておりますが、その他ご不明のこと等がございましたら、学年主任または教頭・校長等へ直接ご相談ください。
・担任の先生が、不安。子供達がいづもしまっていないように見えるので、必要な時は厳しくしてほしい。	
・授業参観に行った時、発表の声が小さかったり、なんとなくざわざわしており、何をしているのか分かりにくかった。授業参観でいつもと雰囲気が違うからだったのか、普段からこの様な感じだと、授業が理解出来ているのか不安になった。	
・学童の迎えに行く為、プール奥の駐車場を使いますが、夕方 5 時を過ぎると辺りが真っ暗で親御さんと歩く学童や人が見えず、ヒヤッとする事が多々あります。事故が起きる前に改善して欲しいと思います。	・貴重なご意見をありがとうございます。まずは、懐中電灯や、反射材などを携行していただけるよう、引き続きアナウンスしてまいります。
・友達との関係。先生に言ってもわかってくれないからと話せずにいる。お友達関係、ママ友関係。	・ご心配おかけしております。相談窓口は、教頭・養護教諭・心の相談員・スクールカウンセラーです。まず、ご相談ください。
・とある先生が学校の内情を話しすぎだと思う。ちょっと幻滅してしまった。子供関係には満足してるけど、いちいち言わなくてもいいところじゃないかと思った。	
・子どもがあまり学校のことがわかっていないみたい。先生にきちんと聞けない。	
・子供たちの主張や意見も聞いてくれる場があればと思います。何かを決めるなら、高学年は多数決より話し合いを取り入れるのも良いのではと思います。	・子どもたちの意見を表明する権利等を保障する「こども基本法」が、令和5年4月1日から施行されます。本校としても、より一層対話的な学びの実現を重視してまいります。

【質問4】児童は、挨拶や返事などの習慣が身についている。

回答者	令和3年度 (%)	令和4年度 (%)
児童	187人／211人(88.6)	171人／201人(85.1) ↓
保護者	164人／190人(86.3)	130人／152人(85.5) →
職員	(84.6)	(91.3) ↑

◇挨拶や返事などについては、本校職員の方が肯定的に評価していますが、引き続き100%を目指して参ります。

【質問5】児童は、係や当番活動などで、自分の役割を果たしている。

回答者	令和3年度 (%)	令和4年度 (%)
児童	203人／211人(96.2)	195人／201人(97.1) ↑
保護者	170人／190人(89.5)	143人／152人(94.1) ↑
職員	(96.2)	(100) ↑

◇役割活動は、高い肯定的評価を得ています。役割を自覚して頑張る子どもたちを応援し、引き続き、この取り組みを続けて参ります。

【質問6】児童は、いじめをされたり、いじめをしたりしていないと思う。

回答者	令和3年度 (%)	令和4年度 (%)
児童	172人／211人(81.5)	174人／201人(86.6) ↑
保護者	143人／190人(75.3)	126人／152人(82.9) ↑
職員	(84.6)	(78.3) ↓

◇学校では児童間のいじめがなかったか毎日振り返り、教職員全員で情報を共有し、早期発見・解決に努めています。積極的に認知している分、職員の評価が下がったものと考えます。今後も「いじめゼロ」を目指した取り組みを続けていきます。ご家庭でも、「いやな思い」をしたら、まず、相談するようにお子さんにお話ください。学級担任だけでなく、養護教諭や教頭、心の教室相談員、スクールカウンセラーが相談窓口となっています。

【質問7】学校は、誰もが学びやすい教育の環境を整えている。

回答者	令和3年度 (%)	令和4年度 (%)
児童	185人／211人(87.7)	194人／201人(96.5) ↑
保護者	154人／190人(81.1)	132人／152人(86.8) ↑
職員	(100)	(87.0) ↓

◇80%以上の高い評価を得ていますが、個別の支援が必要な児童も過しやすい教育環境の整備に努め、効果的な活用を目指していきます。

【質問8】あなたは、子どもと向き合う時間を確保している。

(児童から見て)教員はあなたの話をよく聞いてくれるか。

回答者	令和3年度 (%)	令和4年度 (%)
児童←教員	205人／211人(97.2)	198人／201人(98.5) ↑
保護者	174人／190人(91.6)	130人／152人(85.5) ↓
職員	(100)	(95.7) ↓

◇98%の児童が教員はよく話を聞いてくれると回答しました。教職員の自己評価は少し下がりました。まだまだ児童と向き合う余地があるということです。反省し、時間の確保に努めます。保護者の方の自己評価もやや下がっています。85%以上の方が子どもとの時間の確保に努めているようですが、まだまだ子どもの話を聞く時間が作れないという反省があるのでしょうか。これからも、少しでも多く、お子さんの話を聞いてあげてください。

《学習について》

【質問 9】 教員は、新しい教材や教具を用いて授業を工夫し、学力の向上に努めている。

回答者	令和 3 年度 (%)	令和 4 年度 (%)
児童	208 人／211 人 (98. 6)	201 人／201 人 (100) ↑
保護者	160 人／197 人 (81. 2)	131 人／152 人 (86. 2) ↑
職員	(80. 8)	(82. 6) ↑

◇積極的にタブレット PC 等の ICT 機器を授業に取り入れていることが評価されていると考えます。ただ、あくまでも ICT 機器の活用は手段であって目的ではありません。これからも児童個々が主体的に学び、友達と協働していく取り組みをさらに進め、学力の向上に努めて参ります。

【質問 10】 あなたは、授業がわかりやすいと思っている。(令和 4 年度新設の質問です。)

回答者	令和 4 年度 (%)
児童	193 人／199 人 (97. 0)

【質問 11】 質問 10 で「ややあてはまらない」「あてはまらない」と答えた方は、その理由を選んでください。

選択肢	令和 4 年度 (%)
先生の話が分からない。	6 人／6 人 (100)
黒板の文字や図が分かりにくい。	2 人／6 人 (33. 3)
授業の進み方が早い。	6 人／6 人 (100)
参考になる資料や実験が少ない。	1 人／6 人 (16. 7)

◇大部分の児童が「わかりやすい」と回答する中、困っている児童が一定数いることを重く受け止めつつ、もっとわかりやすく工夫するほか、個別最適な学びを確保することができるよう努めます。

【質問 12】 教員は、児童一人一人の個性を大切に(リスペクトして)指導している。

(児童への質問：先生は、あなたのことを大切にしている。)

回答者	令和 3 年度 (%)	令和 4 年度 (%)
児童	174 人／211 人 (82. 5)	197 人／201 人 (98. 0) ↑
保護者	161 人／197 人 (81. 7)	124 人／152 人 (81. 6) →
職員	(96. 2)	(100) ↑

◇児童と保護者は 80%程度の肯定的な回答をしています。これからも児童一人一人の個性を伸ばしていくために、児童理解に努めて参ります。

【質問 13】 児童は、授業に意欲的に取り組んでいる。(令和 4 年度新設の質問です。)

(児童への質問：あなたは、授業にいっしょうけんめいに取り組んでいる。)

回答者	令和 4 年度 (%)
児童	191 人／201 人 (95. 0)
保護者	129 人／152 人 (84. 9)
職員	(95. 7)

【質問 14】質問 13 で「ややあてはまらない」「あてはまらない」と答えた方は、その理由を選んでください。（児童のみの質問です。）

選択肢	令和 4 年度
授業がわからない	7 人／10 人
忘れ物が多かった。	3 人／10 人
予習や復習をしなかった。	1 人／10 人
体調が良くなかった	1 人／10 人
その他(その理由)	3 人／10 人
・ 楽しい勉強をしたい。・ 学校に来たくない。・ 少し授業でいきづまる。・ 少し話を聞いていなかったから。	

◇回答者の数を見ると 10 名が【質問 14】の対象ですが、困っている児童はまだまだいることを確認させられました。よりわかりやすい授業を目指します。

【質問 15】児童は、基礎的な学習内容を身に付けている。

回答者	令和 3 年度 (%)	令和 4 年度 (%)
児童	192 人／211 人(91.0)	190 人／201 人(94.5) ↑
保護者	161 人／197 人(81.7)	122 人／152 人(80.3) ↓
職員	(73)	(56.5) ↓

◇昨年度と比較して、職員の評価が大幅に下がりました。今年度の本校の全国学力・学習状況調査の結果や、校内で行ってきた教員研修等によって、現在子どもたちに求められている学力について理解が深まった表れであると考えます。来年度以降は、これまでとは異なる視点で、新たな授業づくり等に努めて参ります。

【質問 16】児童は、授業を理解し、自分の考えをわかりやすく説明することができる。

回答者	令和 3 年度 (%)	令和 4 年度 (%)
児童	165 人／211 人(78.2)	178 人／201 人(88.6) ↑
保護者	128 人／197 人(65.0)	117 人／152 人(77.0) ↑
職員	(50)	(56.5) ↑

◇児童の自己評価が向上しています。児童が友達の前で、発表する機会が増えたことが自信につながったのかもしれません。保護者・職員も、ともに評価が向上しています。今後は、自分の考えを「伝える」ことで満足せず、「伝わったかどうか」を考えながら表現することができる児童を目指します。

【質問 17】家庭では、家庭学習などを応援し、学習時間を十分確保している。

（児童への質問：おうちの人は家庭学習を応援してくれて、学習の時間もしっかりとってくれる。）

回答者	令和 3 年度 (%)	令和 4 年度 (%)
児童	159 人／211 人(75.4)	183 人／201 人(91.0) ↑
保護者	176 人／197 人(89.3)	119 人／152 人(78.3) ↓
職員		(39.1)

◇児童は 90%以上が応援され、家庭学習の時間を確保してもらっていると思っていますようです。一方で、全国学力・学習状況調査の結果を見ると、本校の児童の家庭学習にかかる平均時間は、全国や県の平均と比べると 1 時間少なく、逆にゲーム等にかかる時間は 1 時間多いというデータもあります。児童にとっては「十分」と思える時間が、自身の学習の定着状況や生活のリズム等を踏まえて適切な時間になっているか、学校と家庭の両面から振り返る必要がありそうです。

《運動・体力について》

【質問 18】 学校は、適切に児童の体力向上や病気の予防に取り組んでいる。

回答者	令和3年度 (%)	令和4年度 (%)
児童	187 人／211 人 (88.6)	198 人／201 人 (98.5) ↑
保護者	143 人／164 人 (87.2)	132 人／152 人 (86.8) →
職員	(92.0)	(100) ↑

◇向寒マラソン等の体力向上策や、マスク着用や手指の消毒、日常の検温等が評価されたものと考えます。コロナ禍の運動制限やバス通学の影響等もあるためか、持久走や走力等をはじめとする体力に低下が見られます。今後も学校から発信する体力向上策にご理解とご協力をお願いします。

【質問 19】 児童は、積極的に運動し、健康な体作りや病気の予防に取り組んでいる。

回答者	令和3年度 (%)	令和4年度 (%)
児童	184 人／211 人 (87.2)	189 人／201 人 (94.0) ↑
保護者	127 人／164 人 (77.4)	121 人／152 人 (79.6) ↑
職員	(96.0)	(91.3) ↓

◇児童の評価は大きく伸びました。保護者の評価は少し上がりましたが、「もっと積極的に」という期待の裏返しかと思います。ロング昼休み等、日頃から外で元気に遊ぶことを奨励するとともに、運動時のマスクの着脱や手洗い・うがい、清潔なハンカチを忘れないこと等を自分からできるようにさせたいと考えます。

【質問 20】 児童は、他の学年の人たちとも仲が良く、よく遊ぶ。

回答者	令和3年度 (%)	令和4年度 (%)
児童	180 人／211 人 (85.3)	169 人／201 人 (84.1) ↓
保護者	122 人／164 人 (74.4)	111 人／152 人 (73.0) ↓
職員	(80.0)	(91.3) ↑

◇職員が「昨年度よりは良い」と感じているのに対して、児童・保護者は「なかなか交流ができていない」と感じており、対照的でした。今後も工夫して、一定の距離を保っての異学年交流をさせていきたいと考えます。

【質問 21】 家庭では、児童の病気の予防や、けが・事故の防止に努めている。

回答者	令和3年度 (%)	令和4年度 (%)
児童	184 人／211 人 (87.2)	194 人／201 人 (96.5) ↑
保護者	157 人／164 人 (95.7)	150 人／152 人 (98.7) ↑
職員		(69.6)

◇ご家庭での意識の高さが、高い評価に表れています。しかし、職員の評価は少し低くなっています。これは、ほとんどのご家庭が、毎朝の健康チェック等でお子さんの健康状態を把握・報告していただいている中、まだ一定数のご家庭からは未回答があることで、職員がその対応に追われていることがうかがえます。業務改善のためにも、今後ご協力をよろしくお願いします。

【質問 22】 児童・保護者は、「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣化に努めている。

回答者	令和3年度 (%)	令和4年度 (%)
児童	188 人／211 人 (89.1)	192 人／201 人 (95.5) ↑
保護者	141 人／164 人 (86.0)	128 人／152 人 (84.2) ↓

◇昨年度と同様に、80%以上の評価がありますが、学校としては、100%を求めます。保護者の皆様のご協力がなければ実現しない課題です。児童が充実した学校生活を送ることができるよう、規則正しい生活習慣を身に付けることができるように、今後も引き続きご協力をお願いいたします。

【質問 23】家庭では、適切な運動の習慣化に努めている。

回答者	令和3年度 (%)	令和4年度 (%)
児童	180 人／211 人 (85.3)	161 人／201 人 (80.1) ↓
保護者	117 人／164 人 (71.3)	108 人／152 人 (71.1) →

◇コロナの制限は緩和されていきますので、健康的な生活のために、家庭での運動を楽しく続けていただきたいと考えます。

【質問 24】家庭では、お子さんの睡眠時間の確保に努めている。(令和4年度新設の質問です。)
(児童への質問：あなたは、家でよく眠るようにしている。)

回答者	令和4年度 (%)
児童	182 人／201 人 (90.5)
保護者	132 人／152 人 (86.8)
職員	(26.1)

◇80%以上の回答ですが、100%を目指します。職員の評価が低位であることは、児童が体調を崩した際等に、昨日の就寝時刻を尋ねると、深夜帯の時刻が多く聞かれるところによるものと考えます。多くのご家庭では取り組んでいただいているものと思われますが、お子さんのためにも保護者も早く寝る・一度、部屋を暗くすることなどを習慣にしていいただきたいところです。日本は世界一睡眠時間の少ない国だそうです。睡眠不足が作業のミスを増やし、精神的なストレスを増加させるなど、健康的に良くないことは知られています。お子さんの健やかな成長のために、今後ともご協力ください。

《統合・情報発信・地域連携について》

【質問 25】学校統合したことは、全体としては良かったと思う。

回答者	令和3年度 (%)	令和4年度 (%)
児童	187 人／211 人 (88.6)	185 人／200 人 (92.5) ↑
保護者	147 人／180 人 (81.7)	126 人／152 人 (82.9) ↑

◇このまま、「新日向小スタイル」へつなげたいと考えます。

【質問 26】学校統合して2年目、特に良かったことはどれですか。2つまで選んでください。

回答者	友達が増えた (%)	学校が楽しい。子どもが楽しく通っている。 (%)	学習が分かりやすい。学力が伸びたと感じる。 (%)	電子黒板など、先進的な学習環境がある。 (%)	通学バスなど、登下校が便利になった。 (%)	「がくぶり」で欠席連絡や検温報告、問い合わせができる。 (%)
R3 児童	174 人／211 人 (82.5)	103 人／211 人 (48.8)	26 人／211 人 (12.3)	86 人／211 人 (40.8)	46 人／211 人 (21.8)	28 人／211 人 (13.3)
R4 児童	154 人／201 人 (76.6) ↓	65 人／201 人 (32.3) ↓	12 人／201 人 (6.0) ↓	78 人／201 人 (38.8) ↓	51 人／201 人 (25.4) ↑	20 人／201 人 (10.0) ↓
R3 保護者	110 人／180 人 (61.1)	51 人／180 人 (28.3)	5 人／180 人 (2.8)	69 人／180 人 (38.3)	68 人／180 人 (37.8)	66 人／180 人 (36.7)
R4 保護者	78 人／152 人 (51.3) ↓	50 人／152 人 (32.9) ↑	6 人／152 人 (3.9) →	67 人／152 人 (44.1) ↑	56 人／152 人 (36.8) ↓	45 人／152 人 (29.6) ↓

◇統合2年目は、児童には当然の環境となっていたことで、ほぼ低評価になったと考えます。

児童の「わくわく感」を増やす取り組みが必要だと考えます。

【質問 27】 学校は、必要な情報を各種たよりや「さくら連絡網」、ホームページなどで伝えている。

回答者	令和3年度 (%)	令和4年度 (%)
児童	183 人／211 人 (86.7)	195 人／201 人 (97.0) ↑
保護者	171 人／180 人 (95.0)	143 人／152 人 (94.1) →
職員	(100)	(100) →

◇「さくら連絡網」は、児童・保護者の皆さんにほぼ定着し、好評を得ていると確認できました。学校としても紙の使用量が格段に減り、この実績が、市内の小中学校にも影響を与えています。本校ウェブサイトをご覧の方も微増しています。「校長室から」のコーナーは、校長がほぼ毎日学校の身近な出来事や、学校としての考え等をお知らせしており、2月10日現在、182件の記事を掲載しました。

【質問 28】 学校は、学校行事や参観日などを、状況に応じて積極的に公開している。

回答者	令和3年度 (%)	令和4年度 (%)
児童	183 人／211 人 (86.7)	194 人／201 人 (96.5) ↑
保護者	170 人／180 人 (94.4)	147 人／152 人 (96.7) ↑
職員	(92.0)	(100) ↑

◇運動会やマラソン大会の公開や、今年度は部活動発表会もお見せすることができたことを高く評価していただいたものと考えます。学校としては、より多くの皆さんをお招きすることができず、残念に思っているところです。令和5年度は、より多くの方々に来ていただきたいと考えています。

【質問 29】 教員は、親身に相談に応じ、家庭との連絡を密にしている。

(児童への質問：先生は、おうちの人と、よく話をしていると思う。)

回答者	令和3年度 (%)	令和4年度 (%)
児童	163 人／211 人 (77.3)	192 人／201 人 (95.5) ↑
保護者	160 人／180 人 (88.9)	134 人／152 人 (88.2) →
職員	(80.0)	(87.0) ↑

◇88%以上の肯定的評価を得ていますが、より丁寧に保護者と連絡を密にしていきたいと考えます。児童が95%の高評価をしていたことには、保護者の方々が、「〇〇先生が、～～と話していたよ。」等、お子さんにも聞かせてあげた結果ではないでしょうか。ありがとうございます。今後も、心配なことがあれば、いつでも、まずは学校へご相談ください。

【質問 30：個別のご意見について】

保護者から	学校から
<ul style="list-style-type: none"> ・いつもありがとうございます。マラソン大会の時、最後尾の児童に寄り添い、一緒に走る校長先生の姿がみられました。これからも、児童一人一人をちゃんと見てくれる日向小であって欲しいと願っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見をありがとうございます。次年度の活動に向けて参考にいたします。また、ボランティアにご協力いただいた方々に改めて感謝申し上げます。また、ボランティアに携わっていただいた方々の思いが、少しでも多くの方々に伝わっていくことを願っています。
<ul style="list-style-type: none"> ・マラソン大会ですが、走る事が得意なお子さんは良いのですが不得意な子供はギャラリーが多く、最後まで見られている事を嫌がっています。もう少し子供が楽しめるマラソン大会にして頂きたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マラソン大会の運営の在り方等については、今後、子どもたちの声を尊重しながら、大会自体を廃止する選択肢も視野に入れつつ、よりよい運営の在り方について検討してまいります。
<ul style="list-style-type: none"> ・マラソン大会のボランティアに参加させて頂きましたが、とても良かったです。冬の冷たい空気の中を子供達の足音や息づかい、ゴール付近の歓声が遠くから聞こえて来て、間近に途中経過を見られた事がとても新鮮でした。そして学校の心配りや気配りを感じ、先生方はとても大変なのだと改めて感じました。いつもありがとうございます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見をありがとうございます。市全体でのペーパーレスの取り組みにご理解ください。
<ul style="list-style-type: none"> ・さくら連絡網は、とても助かっているが、学年プリントくらいはプリントにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見ありがとうございます。お子様の目に触れては困るような内容だったものと拝察します。配慮が足りず、申し訳ありませんでした。
<ul style="list-style-type: none"> ・子供が連絡帳に今まで通り書く事は賛成ですが、保護者への個人的な連絡は連絡帳ではなくさくら連絡網での連絡にして頂きたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本校のウェブサイト、さくら連絡網と組み合わせ活用するなど、利便性を高める工夫を行ってまいります。
<ul style="list-style-type: none"> ・年間スケジュールは配布していただくと助かります。 ・さくら連絡網に月間、年間行事のカレンダーを見られるようにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本来、小学校に「部活動」は、教育課程になく、慣例的に継続してきたものです。一方で、プログラミング教育、英語科、道徳の教科化に加え、タブレット端末を日常的に活用する授業等が求められるなど、教職員には、従来よりも高い資質能力が求められるようになりました。教職員もこれまで以上に日々研鑽に努める必要があります。 ・今後の部活動は、学校ではなく、地域に移行する形で検討が進められています。
<ul style="list-style-type: none"> ・部活動など課外活動も工夫次第で負担を減らしながら取り組むことを目指すことが継続されれば 6 年生が 4、5 年生に教えるようなことも復活させられることが出来て有意義だと思います。 ・部活動がなくなったら本当に困ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの校長先生も素晴らしい方々でしたが大木校長先生に替わってから特に ICT 教育が飛躍的な進歩になったと体感しています。先生と子供達との時間の確保から、効率の良い時間の使い方まで日々発信して下さるブログの様子から伝わります。色々と考えてくださってありがとうございます。
<ul style="list-style-type: none"> ・お休みした時、Teams の授業ができて大変助かりました。たくさんのお話を先生方が教えてくれている授業の様子が見られて子どもと一緒に学ばせてもらいました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスに伴う様々な行動制限等により、子どもたちの学びの場が奪われることがないよう、本校としても、Teams 等の積極的な活用を努めて参りました。また、可能な限り行動の範囲を広げ、従前に近い形で教育活動を行うことができるようにしてきたことについてご理解いただきありがとうございます。今後も、子どもたちの喜ぶ顔が多くみられる学校づくりに努めて参ります。
<ul style="list-style-type: none"> ・以前よりは苦手な教科に自分から取り組んだり、苦手な運動、授業、行事のために事前に練習したり出来るようになりました。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに応じて適切な環境を作ってくれていると思います。色々な選択肢が選べていると感謝しています。安心できた一年でした。 	

保護者から	学校から
・発信が遅い事があり、仕事の調整ができない事があったので、親が参加できる行事は早めに発信が欲しかったです。	・申し訳ございません。これまで遅くとも1か月前までのご案内に努めておりましたが、大きな行事については早めのご案内に努めます。
・統合やコロナ禍のためか、児童の交流を制限しているように思われ、児童がグループ化しており、そこから外れると孤立する環境になっている。	・来年度から、児童同士の学び合いの場を広げ、異学年交流をはじめ、交流活動を活発化してまいります。
・思春期だからかお友達との接し方で嫌な気持ちになった事を家でよく話します。思っていることをハッキリ言ってしまったらトラブルになるから我慢しているようです。一部の子の口が悪いなども聞きます。 ・これから難しい年頃に入るかと思いますが、充実した学校生活の中で真っ直ぐ成長してもらいたいです。	・まずは、お子様のネガティブな気持ちを丁寧に受け止めていただいていることに感謝申し上げます。内容について、気になるようでしたら、担任だけでなく、教頭・養護教諭・心の相談員・スクールカウンセラーが相談窓口になっておりますので、遠慮なくご相談ください。
・すべての留学生は自分のクラスメイトからいじめられています。同級生は彼らと遊ぶことはありません。彼らは学校で孤独を感じています。彼らはいじめのためにいつも学校に行くのをやめたいと思っています。 ・外国の子供たちはいじめられている。だから学校に来ることに興味が無い。彼らは孤独を感じている。誰も彼らと遊んでいない。何も悪いことをしていないのにクラスメイトから責められる。	・すでに学級担任等へご相談いただいているものと認識しておりますが、本校では、校内にいじめ認知システムを構築し、毎日、児童のいじめに関する情報を共有することとしています。常にいじめられている児童の気持ちに立ち、引き続き早期解決に向けて努めて参ります。また、未然防止策として、道徳教育、人権教育をより一層強く進めて参ります。
・バスの中がうるさくて、6年生が注意してもすぐまたうるさくなるそうです。それでバスに乗るのを嫌がっています。	・バスの乗車については、人に迷惑をかけるような乗車態度が継続するようでしたら、お早めに学校へご連絡ください。場合によっては、通学バスでの登下校をお断りさせていただくこともあります。
・青バスに乗っています。高学年の帰りのバスで奥からつめて座る様に指導されているようですが、4年生の女子3人は2人がけの席を各1人で陣取り、ランドセルを座席に置き、尚且つ足を開き、隣に座らせないようです。立っている生徒もいるのになおさないようです。上級生に「早く座れ」と言われて、でも席にはすわれない。板挟みで困るといいます。注意してもにらみ、ヒソヒソと文句を言い、改善されないようです。長いことこの様な状況のようです。他のバスと乗る人数はかわらないのに青バスは小さいです。尚更、座席の件は困ると言っています。バスの中がうるさい場合、運転士さんが注意する権限をもっと与えた方が良いと思います。	・バス通学に関する児童への指導については、地区児童会や臨時の集会等を行うほか、下校時のバスに同乗するなどして指導しておりますが、ご家庭でもお声かけください。 ・バスの大きさにつきましては、山武市教育委員会教育総務課へご相談ください。
・バス通学なので、体力面が落ちた気がします。	・体力テストの結果、どの学年も短距離走・長距離走・立ち幅跳び等、心肺機能を伴う脚力に課題があることが明らかになっておりますので引き続き体力増進に努めてまいります。
・マスク着用は義務ではありません。個人の自由にしていくべきです。いつまでも子供達はマスクを外せません。	・国や県、市のガイドラインに沿っております。今後の動向や本校の感染状況等を注視しつつ、一日でも早い平常化に努めてまいります。
・親として相談にのっていますが、先生方が親身になって下さったと思っています。ありがとうございました。	・ありがとうございます。担任だけでなく、スクールカウンセラー等もご活用いただけます。
・先生の言葉遣いや態度を子供から聞くと驚くことがよくあります。子供でも1人の人間でいろんな感情があるので伝え方や言葉を選んでいただければと思います。	・教職員の言動に限りませんが、自分が「どう言ったか」「どう指導したか」ではなく、それが「どう受け取られたか」に配慮することが、対大人や対子どもを問わず、人間関係構築の基本であることを再認識し、襟を正して教育活動にあたっております。
・苦手な授業中に、授業の内容をメモしていたら勘違いされ、注意されたとのことでした。意欲減退にも繋がるので状況をよく把握してからの注意でも遅くないと思います。よろしくお願いします。	

保護者から	学校から
<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食に使われている野菜に農薬が大量に使われていること、発がん性のあるグリホサートが使われた小麦のパンなどが問題視されていますが、オーガニックの給食をはじめた自治体もあるので、是非日向小でもそうして頂きたいと思っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見をありがとうございます。日向小の給食は、成東学校給食センターで学校給食衛生管理基準に基づいて管理され作られています。詳しくは、同センターへお問い合わせください。
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校で ICT がかなり使われているのに中学校に行くときあまり使われていないようなのでさらに情報交換をして中学校ももっと使ってほしいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により、ICT 教育を進める計画が大幅に前倒しされたため、全国で大きな混乱が生じました。本校は、統合時期と重なったため、市教委の支援もあり、比較的 ICT 教育の導入が円滑に進めやすい環境にありました。 ・今後は、より一層連携を深め、ICT 教育の推進に努めてまいります。
<ul style="list-style-type: none"> ・中学校と同じ体操服になってとてもありがたいです。集金も改善されてとてもいいと思います。行事の配信なども工夫していただいてありがたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな取り組みにご理解いただき、ありがとうございます。
<ul style="list-style-type: none"> ・数年後まで思い出に残るような行事を体験させるためには学校全体でのクラスそれぞれに対する支援が必要だと思う。担任に任せて知らんふりで結果を残せないのでは良い組織ではない。 ・行事に参加する度、クラスの楽しい雰囲気が伝わります。ありがとうございます。 ・文化面で、クラスで取り組むようなことが、まるで無かったように思います。運動面で出来るのに文化面で出来ない理由はありません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・従前のやり方や内容にとらわれず、新日向小のスタイルを模索しながら、子どもたちにとって心に残る行事等を創っていきたいと考えています。ご理解とご協力をお願いします。
<ul style="list-style-type: none"> ・日向小学校は子供の個性や悩みに対応をしていただける柔軟な姿勢を取っていただいていると思います。しかしながら元々我が国の教育システムや多くの教員は、現代の社会環境や多様性を尊重することに対応できておらず、相変わらず横一線教育です。子供たちを篩いにかけるのではなく、現代社会における心の悩みの解決策を享受できるシステムを設け、個性を尊重し、多様な人材を育成できるような教育システムになっていくことを望みます。現代そして未来を作る学校教育というより人材教育として考えていかないと、グローバル化や少子化による人材不足にも対応できないと思っています。もちろん親も変わらないといけません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、国においても、次期教育振興基本計画の策定作業が進んでおり、Society5.0 で活躍する、主体性、リーダーシップ、創造力、課題発見・解決力、論理的思考力、表現力、チームワークなどを備えた人材の育成を目指すことをコンセプトに、多様な個人それぞれの幸せや生きがいの実現に向けた教育を行うこととしているところです。 ・本校においては、個別最適な学びと協働的な学びの両立を目指すべく、タブレット端末等の ICT 機器をより一層活用し、これまでにない形の日向スタイルを追求してまいります。今後ともご理解とご協力をお願いいたします。
<ul style="list-style-type: none"> ・現在 3 学期制だが、通知表は 2 回、これから 2 学期制にするのか？ 意見をとあるが、その意見を受けつつ、学校側がどうしているのか分りにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、今年度と同様、通知表と個人面談とを実施しながら進めていく予定です。
<ul style="list-style-type: none"> ・来年度から 1 クラスになると目が行き届かない生徒が出ないかが不安です。教室も狭くなるから全員がちゃんと黒板を見られるのかなども少し不安です。 ・楽しい学校生活を送れており、安心している。ただ、2 年生になると 1 クラスになるようなので人数が増えた時、どのような状態になるのか不安がある。できることなら 2 クラスで行ってくれたらと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご心配をおかけしております。教員の人数は、児童数に応じて定められており、来年度の状況を鑑みて、学級が統合する可能性のあった現 1 年生には、少しでも年度当初の混乱を避けるため、予めお知らせしたところです。 ・現在は、2 学級を維持できるよう方策を練っているところです。

保護者から	学校から
<p>・例年、お手紙などの配布物は、ポスト投函や家庭訪問で臨機応変に対応をしてくださっていたので、助かっていました。今年も、学校に取りに行くことは困難と伝えていたのですが…何とか工面していましたが、少しキツかったです。先生の体調もあるかと思います故、来年度から大丈夫ですので、また例年のように、学期に1度程度の家庭訪問等をしてくださると助かります。(子供も、学校へ行くのを嫌がるので…) ご無理を言って申し訳ありません。今年も色々サポート、ご配慮をありがとうございました。</p>	<p>・ご意見をありがとうございます。今後求められる多様な学びの場を確保できるよう、できる限り努めてまいります。</p>

【学校評価アンケートをまとめて】

- 生活面では、いじめ等についての不安が解消されつつあり、ほとんどの児童が教員に対して「話を聞いてくれる」と感じているためか、学校生活に満足している児童が増えました。ただその一方で、一部の保護者からは、児童や教員の言動に対して不安や不快感の声が届いており、引き続き、本校の教職員の行動規範に掲げた「リスペクト」のある言動に心がけ、子どもたちの声なき声も含め、これまで以上に耳を傾ける必要があると感じています。
- 学習面では、電子黒板をはじめ、ICT 機器を活用した授業等が日常化したためか、児童や保護者の満足度が、昨年度と比較して大幅に向上しました。また、タブレット端末の活用により、児童が自分のペースでドリル学習を進めるだけでなく、その場で正誤を確認することができる環境も整ったことが、学習に対する満足感にもつながったようです。その一方で、今年度校内で行った教員研修により、本校の全国学力・学習状況調査の結果や学習指導要領で求められている学力や授業等についての理解が深まったためか、教職員の評価結果がやや厳しいものになりました。これは、次年度以降の授業づくりや児童の学習評価の質の高まりにつながるものとして、むしろ前向きに受け止めているところです。
- 健康・体力面については、昨年度と比較し、多くの設問において肯定的な回答が増えたことは喜ばしいこととして受け止めています。しかしながら、教職員の家庭教育に対する評価は低調でした。これは、多くのご家庭で毎朝の健康チェックや「早寝・早起き・朝ごはん」等について前向きに取り組んでいただいている一方で、一部のご家庭において基本的な生活習慣等が確立していないために、毎朝の出欠確認や各種健康診断の結果に基づく治療等の督促等により本来業務に一部支障をきたしており、その負担感によるものと考えています。本校としては、今後も粘り強く家庭教育の啓発を行ってまいりたいと思います。
- 情報発信や連携等については、紙媒体による手紙を廃止し、ほとんどの連絡を「さくら連絡網」を活用したメール配信にしぼったこと、本校のウェブサイト等を通じて日々の教育諸活動を発信してきたこと等が功を奏したためか、肯定的な回答が飛躍的に増えました。また、毎月配信している「学校だより」においても、毎回簡単なウェブアンケートを実施し、直近の保護者の声を踏まえて対応したり、翌月の「学校だより」を通じて学校としての見解等を示したりしたことも肯定的に受け入れられているようです。今後も、積極的に児童の姿を通して、本校の教育活動の情報発信に努めて参ります。

令和5年2月15日

山武市立日向小学校 校長 大 木 圭